

経 第 1 3 1 4 号

令和4年3月22日

各 位

商工労働部長

電力需給ひっ迫に伴う節電について（依頼）

日頃より、商工労働行政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、本日、経済産業省より電力需給ひっ迫が予想されることに伴う、東京電力管内における節電要請がありました。

東京電力管内においては、3月16日の福島県沖地震の影響により、東北、東京エリアの火力発電所が一部停止している中で、本日は気温が低く悪天候が予想されており、電力需給が極めて厳しくなる見込みとなっております。

つきましては、不要な照明の消灯や暖房温度の設定を20度とするなど節電に御協力いただきますようお願いいたします。

担当

商工労働部 経済政策課

谷、子安、柴田

043-223-2703

keisei-seisaku@mz.pref.chiba.lg.jp



3月22日は電力需給が厳しくなる見込みのため東京電力管内で節電のご協力をお願いします【需給ひっ迫警報】

2022年3月21日

▶エネルギー・環境

【2022年3月22日差し替え】本発表が、「需給ひっ迫時の対応について（kWベース）」（第40回電力・ガス基本政策小委員会（2021年10月26日）資料4-2の38ページ）における「需給ひっ迫警報」に該当するのか、とのお問い合わせを多数いただきましたので、件名に追記を行いました。

3月16日（水曜日）の福島県沖の地震の影響により、東北、東京エリアの火力発電所が一部停止している中で、連休明けの明日22日（火曜日）は特に東日本で気温が低く、悪天候が予想されているため、特に東京電力管内で電力需給が極めて厳しくなる見込みです。つきましては、ご家庭や職場などにおいて、不要な照明を消し、暖房温度の設定を20度とするなど、節電にご協力いただきますようお願いいたします。

1. 電力の需給の状況

3月16日（水曜日）の福島県沖の地震の影響により、東北、東京エリアの火力発電所6基（計約330万kW）が引き続き停止しています。こうした中で、3連休明けの明日22日（火曜日）は特に東日本で気温が低く、悪天候が予想されており、電力需要が大きく増加することが見込まれています。

東京電力パワーグリッドをはじめとする各電力会社においては、火力発電所の増出力運転や自家発電の稼働要請、広域的な電力の融通など最大限の対策を講じることとしておりますが、明日の電力需給は極めて厳しい見通しであり、現在精査中ですが、想定される東京電力管内の電力需要に対して十分な供給力が確保できないおそれがあります。

2. 節電のご協力のお願い

ご家庭や需要家のみなさまには、明日、暖房の設定温度を下げる、使っていない部屋の電気を消す、使っていない機器の電源を落とすなど、日常生活に支障のない範囲で節電にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、当日の電力需給の動向次第では、更なる節電の協力をお願いする可能性もあります。

※3月16日（水曜日）の福島県沖の地震の影響で停止している火力発電所

計6基334.7万kW

東北エリアに送電

- 原町火力発電所1号機（東北電力） 100万kW

- 新仙台火力発電所3号系列3-1号機(東北電力) 52.3万kW
- 相馬石炭・バイオマス発電所(相馬エネルギーパーク) 11.2万kW
- 仙台パワーステーション(仙台パワーステーション) 11.2万kW

東京エリアに送電

- 広野火力発電所6号機(JERA) 60万kW

東北エリア・東京エリアの両エリアに送電

- 新地火力発電所(相馬共同火力発電) 100万kW

※東京電力パワーグリッドが講じる対策

- 火力発電所の増出力運転
管内の火力発電所に対して、通常よりも出力を増やして運転
- 自家用発電事業者の焚き増し運転
自家用発電設備を保有する事業者に対して、自家用発電設備を稼働・出力増を依頼
- 広域的な電力の融通
東京電力以外の電力会社のエリアから電力を融通

担当

資源エネルギー庁 電力基盤整備課 小川

担当者： 武部、伊藤

電話：03-3501-1511(内線 4761)

03-3501-1749(直通)

03-3580-8591(FAX)